

古着・古繊維…捨てればゴミ、活かせばお宝？！

古着・古繊維はファイバーリサイクルとしてほぼ100%活用が可能とされるお宝といわれていますが、現状では処分可能全体量の7割が活用されず、ただのごみとして捨てられています。私たちは、その「古着たちがお宝にかわる」流れをお伝えして、その活用をすすめたいと考え「お宝探検隊」として回収ルートを追い、古着・古繊維を回収、加工しているナカノ株式会社の秦野工場を訪ねてみました。



市内のステーション



鎌倉市資源回収協働組合に集結



ナカノ株式会社秦野工場

ナカノ株式会社秦野工場は「未来のために今エコを！」というテーマで、35人の従業員が元気に働く活気に満ちた現場です。工場長の藤田さんの説明を受け、さっそく探検をはじめました。ちなみに全国で1年間の古着発生量は130万トン。ナカノの取り扱い高は1万トンです。



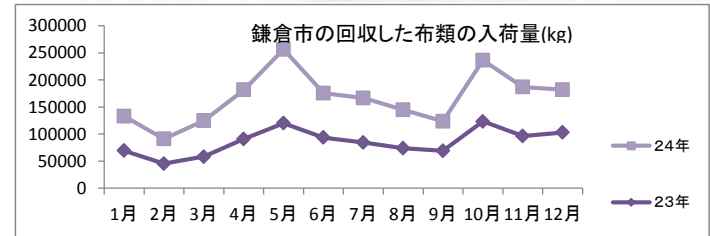
一日大体11トンの古着・古繊維が搬入され、衣替えの季節には更に増え倉庫が一杯になります



工場内では、手作業で、280種に選別されます



選別されたものはプレス機で圧縮梱包、



資料: 鎌倉市資源回収協働組合

古布回収量とその売上高

年度	回収量(kg)	売上高(円)	単価(円/kg)
23年度	978030kg	5134000円	(5円/kg)
24年度	906800kg	5712000円	(6円/kg)
25年度(上半期)	668200kg	4911000円	(7円/kg)

資料: 鎌倉市資源循環課



冬物などの輸出古着に向かない物のうち、20%はフィリピンの工場でウエス・軍手に、30%は断熱や防音材の反毛・再生原料となって産業界へ送られていきます



選別されたうちの50%はそのまま古着として需要のある東南アジア方面に船便で送られます(冬物は需要が少ないそうで)



種類別に梱包され、海外への出荷を待ちます

鎌倉市の古着・古繊維は比較的良質で、1年間で5百万円近くの売却益！ほんとにお宝だったわ



日本の古着は需要が多いからもっと送ってよいぞうよ。タンスのこやしも活かさなくちゃね。



船便で送るので、濡れた古着が混ざると倉庫中かびちゃうって、だから雨の日に出して



布団、ぬいぐるみ、羽毛、皮革、ビニル製品は出さないでね。ナイフ、食器、乾電池、小銃、銃銃のため、運搬まで入ってだって！困ってましたよ！気を付けて！！

古着を出す時はすぐに着られるように、ファスナーやボタンはそのままがいいのね

古着・古繊維リサイクルは新製造にくらべCo2発生や、農業・肥料・水資源使用のムダを抑えるエコの優等生なんだって



特別出演: 秦野のピーナッツ！



古繊維は手袋として蘇ります。この手袋はネット等で販売もされています